

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

風しん(全数把握対象)の報告が2例あり、23週までの累積報告数が21例となった。今週の2例はいずれも宮崎市保健所からの報告で、10歳代と30歳代であった。ワクチン接種歴は不明と接種歴なしであった。

定点医療機関からの報告総数は773人(定点あたり22.8)で、前週比97%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

【感染性胃腸炎】

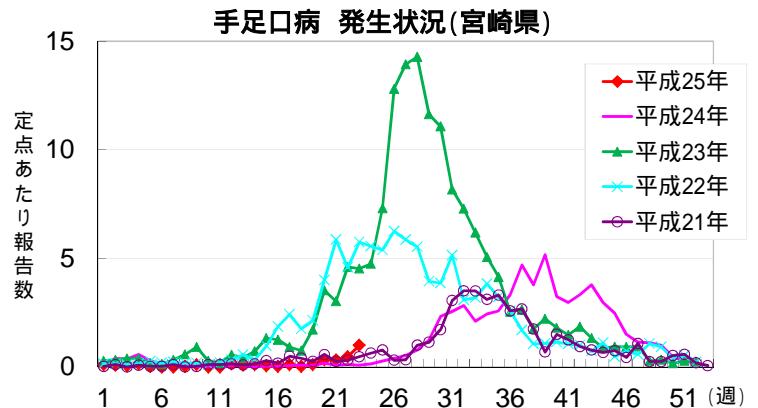
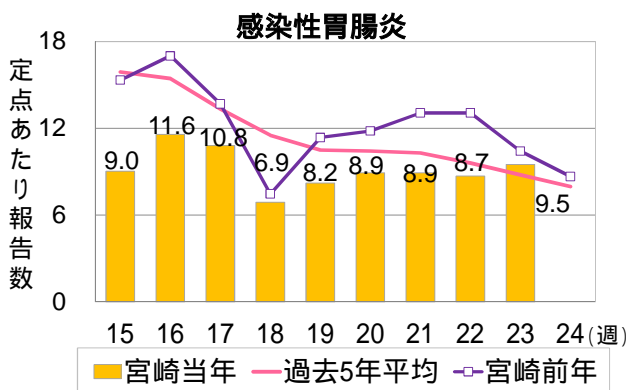
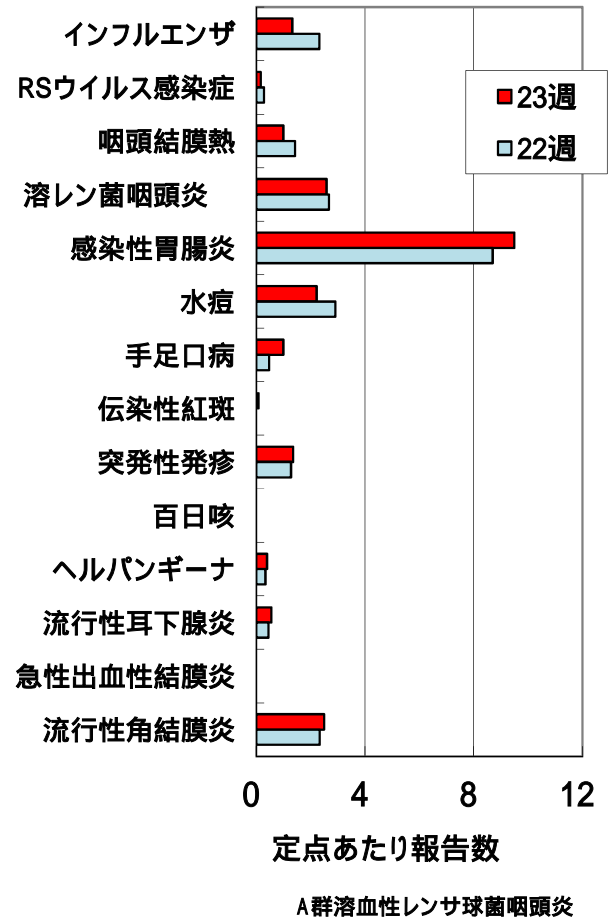
・報告数は342人(9.5)で前週比109%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(8.8)の約1.1倍である。小林(25.3)、都城(15.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

・報告数は36人(1.0)で前週比212%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値*(4.2)の約2割と少ない。延岡(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約9割を占めた。

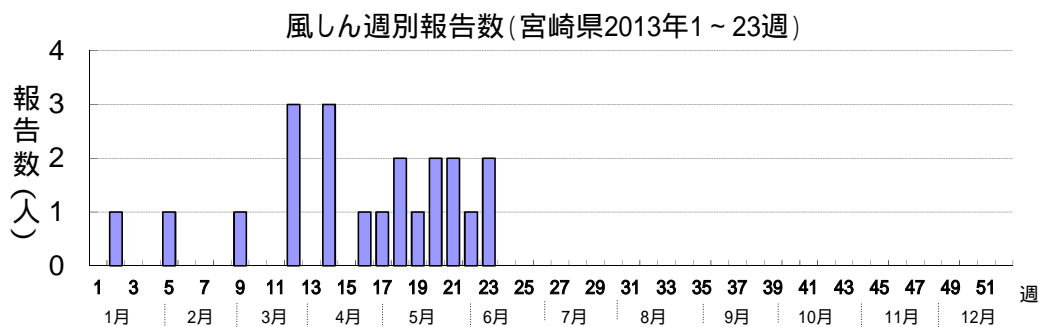
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

(前週との比較)



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：延岡保健所から1人報告された。患者は月齢1ヶ月未満で、病原体は不明。



流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.8) 手足口病(5.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(25.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患

- 1類感染症： 報告なし。
- 2類感染症： 結核 3例。
- 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 2例。
- 4類感染症： 日本紅斑熱 1例。
- 5類感染症： アメーバ赤痢 1例、風しん 2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	咳、胸痛
		都城	50歳代	肺結核	なし
			80歳代	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性 大腸菌感染症	宮崎市	60歳代	患者	腹痛、水様性下痢、血便 原因菌：O121(VT2産生)
		都城	40歳代	無症状病原体保有者	原因菌：O103(VT1産生)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	-	発熱、刺し口、発しん、肝機能異常
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	腸管アメーバ症	下痢、粘血便
	風しん	宮崎市	10歳代	検査診断例	発しん、発熱、リンパ節腫脹 ワクチン接種歴：なし
30歳代			検査診断例	発しん、発熱、リンパ節腫脹 ワクチン接種歴：不明	

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 6 月 9 日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
風疹ウイルス	10歳代	男	2013.5.28	麻疹疑い、39.6、リンパ節腫脹、 上気道炎、胃腸炎	咽頭ぬぐい液、 血液	2013.5.29

麻疹疑いの成人男性から風疹ウイルスが検出された。

全国第 22 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 15.5 で、前週比 93%と減少した。今週増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

手足口病の報告数は 2,216 人 (0.70) で前週比 109%と増加した。佐賀県 (3.3)、福岡県 (3.1)、熊本県・沖縄県 (各 2.6) からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 22 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	351 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	35 例	パラチフス	2 例
	E 型肝炎	1 例	A 型肝炎	1 例	オウム病	2 例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	11 例	日本紅斑熱	10 例
	レジオネラ症	16 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	35 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例	梅毒	14 例
	破傷風	2 例	風しん	682 例	麻しん	1 例

* 風しん：大阪府 (208 例)、東京都 (111 例)、神奈川県 (66 例)、兵庫県 (64 例) からの報告が多い。九州の報告数：福岡県 (20 例)、鹿児島県 (15 例)、大分県・沖縄県 (各 2 例)、佐賀県・長崎県・熊本県・宮崎県 (各 1 例)

月報告対象疾患の発生動向 <5月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は45人(3.5)で、前月比102%と横ばいであった。また、昨年5月(3.6)と同程度であった。

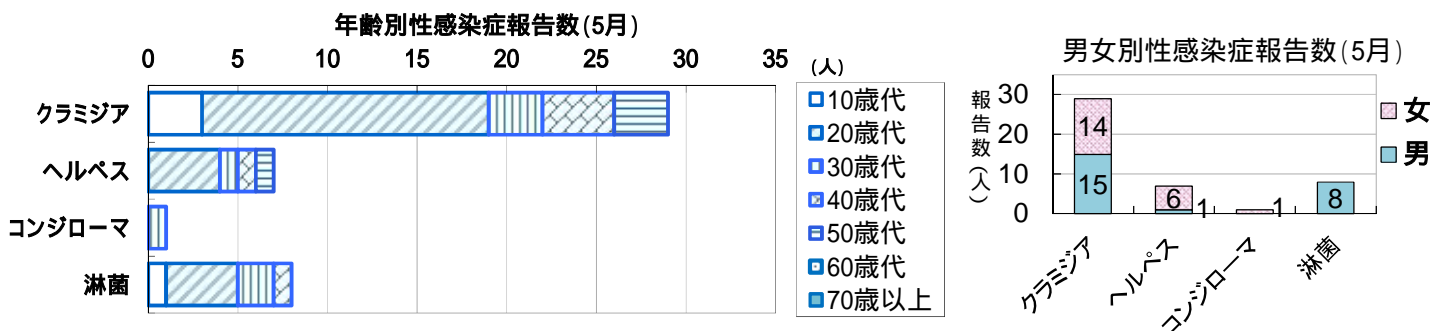
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数29人(2.2)で、前月の約1.1倍、前年と同程度であった。都城(5.5)保健所からの報告が多く、年齢別では20歳代が全体の約6割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月及び前年の約8割であった。20歳代が全体の約6割を占めた。

尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前年の約3割であった(前月は報告なし)。患者は30歳代であった。

淋菌感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約9割、前年の約1.1倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：968

定点医療機関からの報告総数は4,174人(4.3)で、前月比104%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,187人(2.3)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症782人(0.81)で前月比110%、尖圭コンジローマ476人(0.49)で前月比107%、淋菌感染症729人(0.75)で前月比95%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4)で前月比77%と減少した。また、昨年5月(4.0)の約9割であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3)で、前月の約9割、前年と同程度であった。70歳以上が全体の約半数、60歳代が約2割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月の約2割、前年の約半数であった。患者は5歳未満であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：468

定点医療機関からの報告総数は1,996人(4.3)で、前月比99%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,641人(3.5)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症326人(0.70)で前月比108%、薬剤耐性緑膿菌感染症28人(0.06)で前月比150%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告は1人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第23週(06月03日～06月09日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	137	78	10	19	14		23	4	2	4	2
	定点あたり	2.32	1.32	0.63	1.90	2.00	0.00	4.60	0.67	1.00	0.67	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	6	2		4						
	定点あたり	0.28	0.17	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	51	36	9	8	4	8		1		6	
	定点あたり	1.42	1.00	0.90	1.33	1.00	2.67	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	96	93	18	8	43	6	1	3	1	9	4
	定点あたり	2.67	2.58	1.80	1.33	10.75	2.00	0.33	0.75	1.00	2.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	313	342	89	93	11	29	76	19	2	23	
	定点あたり	8.69	9.50	8.90	15.50	2.75	9.67	25.33	4.75	2.00	5.75	0.00
水痘	報告数	105	80	28	6	9	12	2	2	5	10	6
	定点あたり	2.92	2.22	2.80	1.00	2.25	4.00	0.67	0.50	5.00	2.50	6.00
手足口病	報告数	17	36		7	20	2		3		3	1
	定点あたり	0.47	1.00	0.00	1.17	5.00	0.67	0.00	0.75	0.00	0.75	1.00
伝染性紅斑	報告数		3	2			1					
	定点あたり	0.00	0.08	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	46	49	15	9	7	5	6	4		2	1
	定点あたり	1.28	1.36	1.50	1.50	1.75	1.67	2.00	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	12	14	2	2	2	1	4	1		2	
	定点あたり	0.33	0.39	0.20	0.33	0.50	0.33	1.33	0.25	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	16	20	3	5	2			3		7	
	定点あたり	0.44	0.56	0.30	0.83	0.50	0.00	0.00	0.75	0.00	1.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	15	10	3	2						
	定点あたり	2.33	2.50	3.33	1.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～23週)

2類感染症	結核	114例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例(2)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	4例	日本紅斑熱	4例(1)	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例(1)	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	1例	梅毒	3例	破傷風	3例
	風しん	21例(2)				

()内は今週届出分、再掲